

平成20年度 中原区協働推進事業 事業評価書

川崎市中原区役所

番号	事業名	新規・継続	開始年度	所管課
6-1	市民活動支援事業	継続	H11	地域振興課

1 事業概要

事業実施主体	中原区まちづくり推進委員会	対象者	区民	当初予定事業 緊急対応事業
事業形態	直営 一部委託 全部委託 その他()	関連事業局 ・事業内容		
目的及び内容	市民自治の観点から、魅力ある区づくりを推進するため、地域の課題を区民の参加と協働にて進めることを目的に実施する。 実施に際しては、区づくり白書「もっとすてきになかはら」を踏まえ、区内における市民活動の中間支援的活動を行う、中原区まちづくり推進委員会との協働にて行う。また、区内の市民活動のさらなる発展を目的とし、コンサルタントなどの技術支援を行う。			
予算額	4,200,000(円)	決算額	4,067,866(円)	不用額 132,134(円)
不用の理由				
結果・成果	 <p>昔遊びの小学校授業協力</p>		<p>中原区まちづくり推進委員会の課題発見解決部会のプロジェクトではまちなかのマナーモラル向上を目的とした区内小・中学生からのポスター募集、及び商店街への作品提供。地下道を通りやすい公共の場として維持していくためのギャラリー化、清掃を行った。支援広報部会では、委員会活動の周知と市民活動団体の活性化につながるようホームページ、広報紙の作成と共に、まちづくりサロンによる団体交流の場づくりを行った。区民交流センター管理運営者として利用者の意見を反映させるため意見交換会を行い、改善につなげた。</p>	
	実施時期 (開催日/回数等)	通年	参加 人数等	

2 事業評価

評価の結果と理由(緊急対応事業の場合は緊急性・重要性についても触れること)
<p>中間支援的な取組みとして行った、「まちづくりサロン」では、参加団体同士の情報交換など普段から接点のない市民活動団体間の交流につながった。また、区民交流サイト充実に向けパソコン教室を開催し、サイトの更新団体が増加したことは評価できる。</p> <p>区の重要課題である「商店街と連携したまちづくり」事業と連携し、マナーモラルポスターを地域の商店街に掲示するなど、商店街と小学校を絡めた地域コミュニティの場づくりに協力することができた。</p>

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	現在までの成果・具体的な展開方針	優先度
見直し・改善の上継続 終了を見越して継続する 現状どおり 終了する	地域課題の解決に向けた実践活動への支援、市民活動団体への中間支援活動は継続継続実施していく。市民活動の区の拠点としての区民交流センターについては、近隣の市民活動センターや市民館との連携を図り、運営方法など検討をしていく。	A

優先度が：A非常に高い、B高い、C高いとはいえない

区民会議からの主な意見


<p>区内では多くの市民活動団体が、活動していて大変頑張っていると思います。事業費と事業内容のバランスについて、検討が必要だと思われます。</p>

平成20年度 中原区協働推進事業 事業評価書

川崎市中原区役所

番号	事業名	新規・継続	開始年度	所管課
6 - 2	20年後を考えたまちづくり実践事業	継続	H15	地域振興課

1 事業概要

事業実施主体	なかはら20年構想委員会		対象者	区民		当初予定事業 緊急対応事業
事業形態	直営 一部委託 全部委託 その他()	関連事業局 ・事業内容	まちづくり局			
目的及び内容	都市計画マスタープラン中原区構想区民提案の各種提案の推進のために、各種マップの作成、まち歩き、花回廊づくり等の区民自らが実践できる活動を通して、魅力あるまちづくり推進にむけた活動を行う。					
予算額	1,800,000 (円)	決算額	1,793,666 (円)	不用額	6,334 (円)	
不用の理由						
結果・成果	 <p>まち歩きの様子</p>		<p>まちの魅力や再開発の情報と、昔のまちの様子やエピソードを伝えることで地域への関心を高め、住民同志の交流につなげるため「小杉今 昔ウォーキングマップ」の作成を行った。 小杉地区を対象にまち歩きを行ったことにより、参加者に小杉のまちの魅力を発見してもらい契機となると共にマップづくりに向けた貴重な意見集約ができた。 花回廊づくりに協力・参加している団体が集まってもらい、情報交換をするパンジー会議を開催することにより、団体間の連携や意見交換につながった。</p>			
	実施時期 (開催日/回数等)	通年	参加 人数等			

2 事業評価

評価の結果と理由(緊急対応事業の場合は緊急性・重要性についても触れること)
<p>「小杉今 昔ウォーキングマップ」の作成では、イベントでアンケートをとること及び小杉地区を対象とした「まち歩き」での意見集約を行ったことで、区民の声を反映させたものになり、地域への関心を高める契機となるマップができたことは有意義な活動であった。 花回廊づくりに協力・参加している団体が集まり、情報交換をするパンジー会議を開催することにより、団体間の連携や意見交換はもちろんのこと、花回廊作りの具現化を目指す機会となった。</p>

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	現在までの成果・具体的な展開方針	優先度
見直し・改善の上継続 終了を見越して継続する 現状どおり 終了する	作成したマップを活用し、まち歩きなど地域の関心を促す取り組みや新しく転入された区民と長く住んでいる区民との交流を図る取り組みを目指すことで区の魅力発信の一助となる活動を実践していく。	B

優先度が：A非常に高い、B高い、C高いとはいえない
区民会議からの主な意見


まち歩きについては、小杉地区だけではなく他の地区での開催を検討して欲しいと思います。
事業内容について、広報が足りないと思います。

平成20年度 中原区協働推進事業 事業評価書

川崎市中原区役所

番号	事業名	新規・継続	開始年度	所管課
6-3	自転車と共生するまちづくり事業	継続	H13	地域振興課

1 事業概要

事業実施主体	自転車と共生するまちづくり委員会		対象者	区民		当初予定事業 緊急対応事業
事業形態	直営 一部委託 全部委託 その他()	関連事業局 ・事業内容				
目的及び内容	<p>新総合計画第2期実行計画に基づき、駅周辺での放置自転車対策として、区民と協働で調査や駐輪マナー・モラルの啓発等を行うことを目的とする。</p> <p>区民組織として、地域住民や企業の代表から構成される、自転車と共生するまちづくり委員会との協働により、通勤通学者に向けた月2回の早朝呼びかけ、各種イベントにおける自転車の利用や駐輪に関するマナーの啓発活動を行う。</p>					
予算額	2,484,000(円)	決算額	2,356,893(円)	不用額	127,107(円)	
不用の理由						
結果・成果	<p>【事業実施状況・成果物などの写真等】</p>  <p>(呼びかけ運動)</p>		<p>早朝に実施する放置自転車防止の呼びかけ活動をはじめ、各種イベントに参加して、オリジナル啓発グッズの配布や駐輪マナーの説明を実施し、自転車利用者へのマナー向上を呼びかける継続性のある取り組みと近隣町内会や商店街との会合や他区での取り組みの意見交換会開催など新たな展開を図った。</p> <p>また、区民会議で放置自転車問題を扱った際には、課題解決に向け、出張講演や広報チラシ作成という形で積極的に関わった。</p>			
	実施時期 (開催日/回数等)	通年	参加 人数等			

2 事業評価

<p>評価の結果と理由(緊急対応事業の場合は緊急性・重要性についても触れること)</p> <p>武蔵小杉駅周辺は、全国でも放置自転車数がワースト10にランキングされるほど大きな問題となっている地域である。また、大規模なマンション開発に伴いさらに放置自転車問題が深刻になることが予想される。駐輪スペースの絶対的不足に対応するため、徒歩での通勤通学や、駐輪マナーの意識向上を呼びかけることは、駐輪場増設以外での課題解決となる可能性もあり、区民と協働で実施する意義がある。</p> <p>また、同委員会の活動は8年にわたる地道な活動により、区民会議からの協力要請や警察署長からの表彰を受けるなど、活動が地域に確実に浸透していることがわかる点も評価に値する。</p>

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	現在までの成果・具体的な展開方針	優先度
見直し・改善の上継続 終了を見越して継続する 現状どおり 終了する	自転車マナーの啓発活動を継続しつつ、近隣商店街や町内会との連携を強化する。また、武蔵小杉駅以外の駅及び周辺地域への、活動のノウハウやグッズ提供などで、区全体に向けた自転車マナーの啓発を検討する。	A

優先度が：A非常に高い、B高い、C高いとはいえない

区民会議からの主な意見


この事業の活動(小杉駅周辺)も、丸子地区への広がりも見られ、良いと思います。もっと広く広がると良いと思います。

平成20年度 中原区協働推進事業 事業評価書

川崎市中原区役所

番号	事業名	新規・継続	開始年度	所管課
6-4	中原市民活動の集い開催事業	継続	H17	地域振興課

1 事業概要

事業実施主体	中原市民活動の集い実行委員会	対象者	一般区民	当初予定事業 緊急対応事業		
事業形態	直営 一部委託 全部委託 その他()	関連事業局 ・事業内容				
目的及び内容	区民交流センター登録団体の中から有志が実行委員会を組織し、中原区内で活動を行っている市民活動団体が、日ごろの活動を広く区民にアピールすると共に、団体同士で交流し合うことで市民活動の更なる発展につなげることを目的に開催する。開催にあたっては中原市民館と共催で行い、企画・運営から開催までを実行委員会自身の手で行う。					
予算額	500,000(円)	決算額	498,257(円)	不用額 1,743(円)		
不用の理由						
結果・成果	<p>【事業実施状況・成果物などの写真等】</p>  <p>なかはらっば祭り当日の様子</p>	<p>第4回目の開催を迎え、実行委員会を区民交流センター「なかはらっば」の登録団体から募り、「なかはらっば祭り」という名称を用いて実施した。</p> <p>例年行っている各市民活動団体による企画を実施したほか、市民ギャラリーを1週間借り切ることにより、本祭以外にも区民向け講座や意見交換会など、市民活動団体同士や一般来場者も巻き込んだ交流の場を設けた。</p> <p>広報面では、子供用のチラシを区内小学校に配付するなどの手法で、様々な客層の来場があるよう呼び込んだ。</p>	実施時期 (開催日/回数等)	7月20日、21日	参加 人数等	約1000人

2 事業評価

評価の結果と理由(緊急対応事業の場合は緊急性・重要性についても触れること)
市民活動に馴染みのない層を含め多くの区民に会場してもらい、気軽に市民活動に触れてもらう機会を区民に提供するという目的を達成できた。また、市民ギャラリーを1週間借りきって「出張なかはらっば」を試み、実行委員会以外の団体も呼び込んだ交流の場とする企画を行い、区民交流センター「なかはらっば」の周知にもつながった。なかはらっばの登録団体で実行委員会を立ち上げ「なかはらっば祭り」の名称を用いたことは、一般区民への存在周知に加え、参加した団体自身になかはらっばに属しているという意識付けを行うことに一役買った。

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	現在までの成果・具体的な展開方針	優先度
見直し・改善の上継続 終了を見越して継続する 現状どおり 終了する	「中原市民活動の集い」は区民に市民活動団体の活動を知ってもらう場として有効的な場である。今後は参加団体間の交流の場としての意味合いも強め、イベント以外の場での交流についても検討していく。	B

優先度が：A非常に高い、B高い、C高いとはいえない
区民会議からの主な意見


会場(市民館)が新しくなったのですが、ギャラリーが狭く感じたことが残念に思います。

平成20年度 中原区協働推進事業 事業評価書

川崎市中原区役所

番号	事業名	新規・継続	開始年度	所管課
6-5	区民交流センター運営事業	新規	H20	地域振興課

1 事業概要

事業実施主体	地域振興課・企画課		対象者	各地域活動団体・一般区民		当初予定事業 緊急対応事業
事業形態	直営 一部委託 全部委託 その他()	関連事業局 ・事業内容				
目的及び内容	地域活動への参加のきっかけを提供することで地域コミュニティの活性化の促進、市民活動団体間の交流を図るため、区における市民活動拠点として会議室や印刷スペースなどの場所や設備を整備し、各団体や区民の交流の場とする。また、Webなかはらっぱ(区民交流サイト)における情報発信サポートを行う。管理運営に当たっては地域振興課の事務補助として、週3日在籍する事務局員を雇う。					
予算額	2,660,000(円)	決算額	2,377,442(円)	不用額	282,558(円)	
不用の理由						
結果・成果	 <p>Webなかはらっぱ</p>		<p>登録団体を対象にパソコン教室を行うことで、団体自身によるインターネットを使った情報発信を促進し、区民交流サイトのアクセス数増加にもつながった。</p> <p>また、利用団体によるセンター利用に関する意見交換会を行い、利用団体からの要望が多かった印刷機利用の支払方法を変更するなど、利用者の使いやすさの向上につなげた。</p> <p>事務局員の登用で安定したセンター運営や利用者のサポーターとしての役割も担った。</p>			
			実施時期 (開催日/回数等)	通年	参加 人数等	

2 事業評価

評価の結果と理由(緊急対応事業の場合は緊急性・重要性についても触れること)
<p>インターネットが広報の手段として有効性を増している現在において、Webなかはらっぱは区内の各団体の情報発信の場として有効である。パソコン教室を開き、利用者自身による更新を促し、サイトのアクセス数増加にもつながったことは、活動支援という面で効果的であった。また、利用団体による意見交換会を行ったことにより、印刷機利用の支払い方法を変更するなど利用に関する見直しを行ったことで、区民交流センターの利便性向上につながった。</p> <p>事務局員の存在は初めてのセンター利用者に対して安心感を与え、事務補助としての役割に加えセンターの活性促進にも寄与している。</p>

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	現在までの成果・具体的な展開方針	優先度
見直し・改善の上継続 終了を見越して継続する 現状どおり 終了する	今後もアンケート等の方法で利用者の意見を的確に取り込むとともに、利用団体自身がセンターの運営に寄与する体制を整えることで、区民によるセンター運営の体制を進めていく。	B

優先度が：A非常に高い、B高い、C高いとはいえない
区民会議からの主な意見


--

平成20年度 中原区協働推進事業 事業評価書

川崎市中原区役所

番号	事業名	新規・継続	開始年度	所管課
6-6	窓口サービス改善事業	新規	H18	区民課

1 事業概要

事業実施主体	中原区役所		対象者	区民		当初予定事業 緊急対応事業
事業形態	直営 一部委託 全部委託 その他()		関連事業局 ・事業内容			
目的及び内容	<p>便利で快適な区役所サービスを効率的・効果的・総合的に提供するため、市総合計画や「区役所サービス向上指針」に基づいて「中原区役所サービス向上取組方針」を定め、全部署が参加する区役所サービス向上委員会を組織して職員研修や窓口環境改善等、区役所サービス改善の取組を行う。</p>					
予算額	3,034,000(円)	決算額	3,029,595(円)	不用額	4,405(円)	
不用の理由						
結果・成果	<p>【事業実施状況・成果物などの写真等】</p>  <p>(窓口に設置された案内看板)</p>		<p>(方針の策定)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「中原区役所サービス向上取組方針」を6月に策定・公表 (職員研修) ・基本接遇研修：11/5～6 半日×4回開催 約160名参加 ・クレーム対応研修：11/27～12/3 半日×6回開催 約250名参加 (主な窓口環境等の改善) ・番号発券機の導入(高齢者支援課) ・案内看板等の改善(区役所別館) ・「フロア案内」英語版の作成・発行 			
	実施時期 (開催日/回数等)	研修 の内	11/5～12/3 10回開催	参加 人数等	約400名	

2 事業評価

<p>評価の結果と理由(緊急対応事業の場合は緊急性・重要性についても触れること)</p> <p>研修については、「サービス向上委員会」を中心に、職員の関心が高く、窓口サービスの向上に関係が深いテーマ選定により、当該事業の目的は達成された。来年度以降も継続的なサービス向上が図れる研修内容の検討を行う。</p> <p>窓口環境関係については、番号発券機を導入(高齢者支援課)したことで受付順番がわかりやすくなった事で、窓口混雑の緩和につながった。また、区役所別館(地域保健福祉課、衛生課)において案内表示等の改善を行い、来庁した区民にわかりやすい案内誘導が可能となった。</p> <p>また、外国人市民の声を受け、「フロア案内」英語版を作成した。振り仮名つき日本語と英語で行政サービスの概要と担当窓口を明示することにより、外国人市民への行政サービスの周知・提供が効果的に行われるようになった。</p>

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	現在までの成果・具体的な展開方針	優先度
見直し・改善の上継続 終了を見越して継続する 現状どおり 終了する	「区役所サービス向上指針」に基づき、中原区役所サービス向上委員会を中心に、区役所サービスの向上に向けた検討・取組を進める。	A

優先度が：A非常に高い、B高い、C高いとはいえない

区民会議からの主な意見

研修については、実際に研修を受けた職員が横展開させる等の検討をお願いします。
サービスにおいて、大事なものは心だと思います。

平成20年度 中原区協働推進事業 事業評価書

川崎市中原区役所

番号	事業名	新規・継続	開始年度	所管課
6 - 7	中原区市民提案型事業	継続	H19	企画課

1 事業概要

事業実施主体	市民活動団体		対象者	区民		当初予定事業 緊急対応事業
事業形態	直営	一部委託	全部委託	関連事業局 ・事業内容	市民・こども局	
目的及び内容	地域社会が抱える課題の解決のための事業提案を市民から募集し、参加と協働によるまちづくりを推進することを目的に、市が策定した「市民提案型事業のルール」の概念に基づき、区役所を地域における協働の窓口として、地域における市民活動の支援を行う。					
予算額	2,795,000(円)	決算額	2,145,124(円)	不用額	649,876(円)	
不用の理由	提案を受けた事業の予算が想定より低く実施されたため。					
結果・成果	【事業実施状況・成果物などの写真等】		20年度は、「オープンカフェによる交流の場づくり事業」「区内観光ガイド育成推進事業」「精神福祉向上推進事業」の3事業を選定し実施した。 「オープンカフェ事業」では、再開発地区などで地域コミュニティ形成のきっかけづくりとなるカフェを公開空地などを利用して開催した。「観光ガイド事業」では、区内の名所・旧跡などの見所を、参加者を通じて多くの区民に知らせる講座を実施した。「精神福祉事業」では、再開発地区を中心に人口が増加し、希薄化する人間関係を繋ぐ場づくりなどを行った。			
	 <p>オープンカフェ事業の様子</p>		実施時期 (開催日/回数等)		参加 人数等	

2 事業評価

評価の結果と理由(緊急対応事業の場合は緊急性・重要性についても触れること)
市が推進する「市民との協働」を協働型事業のルールに基づき、実施することは市民自治の観点から重要である。また、地域の課題を地域特性や、区民の目線から洗い出し、協働の手法により解決することは、区が実施する協働推進事業のモデルケースとしても重要である。

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	現在までの成果・具体的な展開方針	優先度
見直し・改善の上継続 終了を見越して継続する 現状どおり 終了する	事業の選定方法、協働の手法などを見直しの上より効果的な事業の実施を目指す。	A

優先度が：A非常に高い、B高い、C高いとはいえない

区民会議からの主な意見


区民参加型の事業は良いとおもいます。
各個別事業の広報がもう少し必要と思います。

平成20年度 中原区協働推進事業 事業評価書

川崎市中原区役所

番号	事業名	新規・継続	開始年度	所管課
6 - 8	中原区ホームページ事業	継続	H14	企画課

1 事業概要

事業実施主体	中原区役所	対象者	区民	当初予定事業 緊急対応事業	
事業形態	直営 一部委託 全部委託 その他()	関連事業局 ・事業内容			
目的及び内容	区の重要な広報手段の一つであるホームページを充実させ、区民などに最新の行政情報を提供し、ニーズに応えたページを作成することを目的とする。 また、情報を発信する情報所管課職員を中心に、広報に対する意識を向上させ、主体的な広報活動が推進するために研修を実施する。更に、専門的知識を要する新規コンテンツの作成や既存コンテンツの再検討などを専門業者に委託する。				
予算額	596,000(円)	決算額	595,350(円)	不用額	650(円)
不用の理由					
結果・成果	【事業実施状況・成果物などの写真等】  中原区ホームページ		職員向けホームページ研修を2回実施した。座学形式の広報マインド醸成講座のほか、ホームページビルダーの実習研修を行った。延べ50人の参加があった。		
	実施時期 (開催日/回数等)	通年	参加 人数等	80人(講習会)	

2 事業評価

評価の結果と理由(緊急対応事業の場合は緊急性・重要性についても触れること) 2回実施した研修により、各課担当職員の技術力、広報マインドが上昇し、スムーズな更新作業が行えた。また、これにより積極的な行政情報の発信が行われることとなった。中原区は、大規模開発などにより人口の増加が見られ、新規住民や転入予定者を始め、広く区民に積極的な情報発信を行うことは必要不可欠であり、その点において有効な事業だと考えられる。

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	現在までの成果・具体的な展開方針	優先度
見直し・改善の上継続 終了を見越して継続する 現状どおり 終了する	社会情勢の変化や住民ニーズへ迅速かつ的確に対応していく事が必要であり、より使いやすいホームページ作りへの期待が高まっている。ホームページの再構築を視野に入れる確な事業展開を行っていく。	A

優先度が：A非常に高い、B高い、C高いとはいえない

区民会議からの主な意見

ホームページを作成する上で、使いやすさの検討をお願いします。

平成20年度 中原区協働推進事業 事業評価書

川崎市中原区役所

番号	事業名	新規・継続	開始年度	所管課
6-9	区役所庁舎バリアフリー化推進事業	新規	H20	総務課

1 事業概要

事業実施主体	総務課		対象者	区民		当初予定事業 緊急対応事業
事業形態	直営 一部委託 全部委託 その他()	関連事業局 ・事業内容	バリアフリー化を推進したスロープ、手摺等設置の庁舎整備			
目的及び内容	区役所庁舎のバリアフリー化を推進し、安全で利便性の高い快適なサービスの提供を目指す。区庁舎と保健所庁舎間においてベビーカーでの通行が多い中、段差を解消し、車椅子やベビーカー等に対応したスロープを設置する。 また、子どもが多く来庁する2階において、待合に面した窓に子ども落下防止の窓柵を設置する。東側階段の2階から5階にかけて、手摺がないため設置する。					
予算額	1,961,000(円)	決算額	1,959,090(円)	不用額	1,910(円)	
不用の理由						
結果・成果	【事業実施状況・成果物などの写真等】  (設置したスロープ)		段差を解消し、手摺付スロープを設置した。これにより、車椅子やベビーカーでの安全な移動が可能になった。 子ども落下防止の窓柵を設置した。これにより、子どもの落下の危険性を防ぐことができた。また、中間期等は窓の開放も可能になった。 2階から5階にかけて階段に手摺を設置した。これにより、安全な階段の利用が可能になった。			
	実施時期 (開催日/回数等)	平成20年7月	参加 人数等			

2 事業評価

評価の結果と理由(緊急対応事業の場合は緊急性・重要性についても触れること)
<p>当事業執行により、平成20年8月以降の区役所庁舎、保健所庁舎の行き来の際、車椅子やベビーカーでの移動がしやすくなった。現在、多くの方が利用している。</p> <p>窓の落下防止柵設置や階段手摺設置においても、庁舎管理の面からも非常に危険であり、重要かつ緊急のある内容であった。</p> <p>今後もバリアフリー面においては、利便性が高くかつ安全に来庁者に利用していただくための整備は必要であり、今回も区としては必要な事業であった。</p>

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	現在までの成果・具体的な展開方針	優先度
見直し・改善の上継続 終了を見越して継続する 現状どおり 終了する	今回の当事業の目的は達成した。	

優先度が：A非常に高い、B高い、C高いとはいえない

区民会議からの主な意見

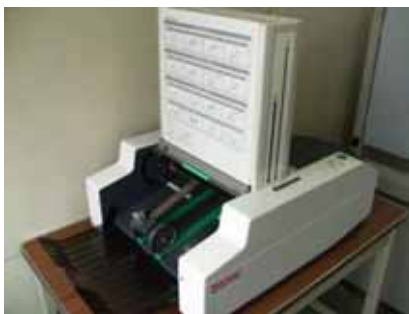
--

平成20年度 中原区協働推進事業 事業評価書

川崎市中原区役所

番号	事業名	新規・継続	開始年度	所管課
6-10	区民交流センター紙折機	新規	H20	地域振興課

1 事業概要

事業実施主体	地域振興課		対象者	区 民		当初予定事業 緊急対応事業
事業形態	直営 一部委託 全部委託 その他()	関連事業局 ・事業内容				
目的及び内容	<p>中原区民交流センターの印刷スペースに設置してある紙折り機が故障したため、利用者からの要望もあり、緊急対応経費にて機器の入れ替えを行う。 この紙折り機は、中原区民交流センターの設備として設置してあり、区の市民活動拠点事業の利便性という点からも、市民活動を支援する上で重要かつ早急的な対応が求められていた。</p>					
予算額	342,000(円)	決算額	302,400(円)	不用額	39,600(円)	
不用の理由	入札により当初見積時の金額よりも安価で購入できたため。					
結果・成果			<p>中原区民交流センターを利用する団体から、紙折り機の不具合の報告があり、故障の状況確認、利用頻度等から必要性を考慮し、緊急対応経費にて購入した。 以前の機器が購入から10年経過している為、修理に必要な機械部品の確保や今後の機器の故障頻度を考えると修理は難しく、また、リースも検討したが、故障頻度及びリース料の積み上げ金額と新規購入を比較した場合、購入による方が安価になるため新規購入として設置した。</p>			
	新規購入の紙折り機		実施時期 (開催日/回数等)	平成21年3月	参加 人数等	

2 事業評価

評価の結果と理由(緊急対応事業の場合は緊急性・重要性についても触れること)
<p>中原区民交流センターの市民活動団体支援の一環として設置してあるものであり、区の市民活動拠点事業の利便性という点からも、壊れたままの放置は避けるべきであったので、緊急対応経費での事業執行となった。 当事業執行により区民交流センター印刷スペースがより利用しやすいものとなり、市民活動団体支援の立場からも当初の事業目的が達成された。</p>

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	現在までの成果・具体的な展開方針	優先度
見直し・改善の上継続 終了を見越して継続する 現状どおり 終了する	新規紙折機が導入され、当事業の目的は達成されたことから終了とする。	

優先度が：A非常に高い、B高い、C高いとはいえない

区民会議からの主な意見


--

平成20年度 中原区協働推進事業 事業評価書

川崎市中原区役所

番号	事業名	新規・継続	開始年度	所管課
6-11	市民活動の事例紹介を通じた区の魅力発信事業	新規	H20	企画課

1 事業概要

事業実施主体	ビデオ制作会社		対象者	区民		当初予定事業 緊急対応事業
事業形態	直営 一部委託 全部委託 その他()	関連事業局 ・事業内容				
目的及び内容	地域における市民活動を区の有効な資源と捉え、これらの活動を紹介するビデオを製作する。製作したビデオは、区民会議をはじめとする、各種会議などの資料として使用するほか、リニューアルが予定されている区のホームページでの配信や、区民交流センターなどで活用することにより、広く区民に、地域で行われる市民活動を紹介することを目的とする。					
予算額	810,000(円)	決算額	807,975(円)	不用額	2,025(円)	
不用の理由						
結果・成果	【事業実施状況・成果物などの写真等】 		20年度は、3本のビデオを製作した。 「地域で取り組む自転車問題」「地域コミュニティを考える」「音楽を通じた地域交流」(各15分程度) 自転車問題や地域コミュニティに関しては、区民会議での議論とリンクし地域課題を議論する際の資料として有効活用された。			
	区民会議でのビデオ上映の様子		実施時期 (開催日/回数等)	通年	参加 人数等	

2 事業評価

評価の結果と理由(緊急対応事業の場合は緊急性・重要性についても触れること)
大規模開発に伴い、人口増加が進む中原区において、区の魅力を積極的に発信していくことは重要である。また、市民参加のまちづくりを推進するうえで、広く区民に市民活動を紹介し、積極的な参加を呼び掛けることは意義がある。

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	現在までの成果・具体的な展開方針	優先度
見直し・改善の上継続 終了を見越して継続する 現状どおり 終了する	製作した映像の活用方法や製作手法、取上げるテーマなど、見直しを行い継続をしていく。	B

優先度が：A非常に高い、B高い、C高いとはいえない
区民会議からの主な意見


ビデオの活用方法や、写真などの活用について検討が必要と思います。

平成20年度 中原区協働推進事業 事業評価書

川崎市中原区役所

番号	事業名	新規・継続	開始年度	所管課
6-12	小杉駅総合案内盤地図情報更新事業	新規	H20	企画課

1 事業概要

事業実施主体	中原区役所、工事業者		対象者	小杉駅利用者区民		当初予定事業 緊急対応事業
事業形態	直営 一部委託 全部委託 その他()	関連事業局 ・事業内容				
目的及び内容	<p>当該小杉駅前総合案内盤は、平成2年に区政推進事業費で設置したもので、区内及び小杉駅周辺の地図情報の提供を行ってきた。</p> <p>現在、小杉駅周辺では再開発により、工場跡地への超高層マンションの建設及び市主要公共施設の移設・廃止が進んでおり、これに伴う地図情報の更新が求められている。</p> <p>以上の状況から、現在までの再開発状況を踏まえた地図情報の更新を行うものです。</p>					
予算額	114,000(円)	決算額	113,400(円)	不用額	600(円)	
不用の理由						
結果・成果	【事業実施状況・成果物などの写真等】		小杉駅前総合案内盤の地図情報のうち再開発に伴い移転した、公共施設などを中心に更新作業を行った。			
	 <p>小杉駅前総合案内盤</p>		実施時期 (開催日/回数等)	H21年3月	参加 人数等	

2 事業評価

評価の結果と理由(緊急対応事業の場合は緊急性・重要性についても触れること)
小杉駅を利用する人へ、最新の情報を提供することは、駅利用者をはじめ広く区民の利便性向上のうえで重要であり、緊急性を要する。

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	現在までの成果・具体的な展開方針	優先度
見直し・改善の上継続 終了を見越して継続する 現状どおり 終了する	今後の更新作業については、再開発の進捗状況を見ながら判断し実施するものとする。	

優先度が：A非常に高い、B高い、C高いとはいえない
区民会議からの主な意見


街が新しく変わる中、盤面の更新も必要と思います。

平成20年度 中原区協働推進事業 事業評価書

川崎市中原区役所

番号	事業名	新規・継続	開始年度	所管課
6-13	東急武蔵小杉駅前案内サイン等情報更新事業	新規	H20	企画課

1 事業概要

事業実施主体	中原区役所、サイン設置業者	対象者	小杉駅利用者	当初予定事業 緊急対応事業
事業形態	直営 一部委託 全部委託 その他()	関連事業局 ・事業内容		
目的及び内容	当該東急武蔵小杉駅前案内サイン等は、平成16年度に魅力ある区づくり推進事業費で設置したもので、小杉駅周辺の地図情報と、市民館などの公共施設への誘導サインの提供を行ってきた。よって、小杉駅周辺の再開発により移転を行う、中原市民館とかわさき市民活動センターへの誘導サインと地図情報の更新作業を行うものです。			
予算額	333,000(円)	決算額	332,850(円)	不用額 150(円)
不用の理由				
結果・成果	<p>【事業実施状況・成果物などの写真等】</p>  <p>案内サインの様子</p>	<p>小杉駅前案内サインを、市民館、市民活動センターの移転に伴い、同施設利用者の利便性向上のため、付近の地図の更新に併せて盤面の更新を行った。</p>	<p>実施時期 (開催日/回数等)</p> <p>H21年3月</p>	<p>参加 人数等</p>

2 事業評価

<p>評価の結果と理由(緊急対応事業の場合は緊急性・重要性についても触れること)</p> <p>小杉駅を利用する人へ、最新の情報を提供することは、駅利用者をはじめ広く区民の利便性向上のうえで重要であり、緊急性を要する。</p>

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	現在までの成果・具体的な展開方針	優先度
見直し・改善の上継続 終了を見越して継続する 現状どおり 終了する	今後の更新作業については、再開発の進捗状況を見ながら判断し実施するものとする。	

優先度が：A非常に高い、B高い、C高いとはいえない
区民会議からの主な意見


盤面の更新は必要と思われますが、更新方法について、安価に出来る方法などの検討が必要と思います。

平成20年度 中原区協働推進事業 事業評価書

川崎市中原区役所

番号	事業名	新規・継続	開始年度	所管課
6-14	窓口順番案内システム修繕事業	新規	H20	保険福祉サービス課

1 事業概要

事業実施主体	中原区役所	対象者	区民	当初予定事業 緊急対応事業
事業形態	直営 一部委託 全部委託 その他()	関連事業局 ・事業内容		
目的及び内容	平成16年度魅力ある区づくり推進事業において設置した、窓口順番案内システムが故障してしまった。来庁された方が窓口において、自分のまち順番を周知し、待ち時間のいらいら解消を目的に設置したもので、機械の修繕を行う。			
予算額	56,000(円)	決算額	55,650(円)	不用額 350(円)
不用の理由				
結果・成果	【事業実施状況・成果物などの写真等】	窓口サービスの観点から、機械の修繕は緊急を要する為、緊急対応経費にて実施した。		
	 窓口の番号案内発券機	実施時期 (開催日/回数等)	1月	参加 人数等

2 事業評価

評価の結果と理由(緊急対応事業の場合は緊急性・重要性についても触れること)
緊急対応経費にて、修繕を行い、窓口サービスを維持することが出来た。

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	現在までの成果・具体的な展開方針	優先度
見直し・改善の上継続 終了を見越して継続する 現状どおり 終了する	目的が達成された為終了とする。	

優先度が：A非常に高い、B高い、C高いとはいえない
区民会議からの主な意見

窓口において、待ち順が分かるのは良い事だと思います。
